

実践『ペルソナ』通信 (No. N-48)  
「女子大生の筆記用具」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部・実践「ペルソナ」研究会は、Be面の調査で特徴があった筆記用具とスケジュール帳の関係の点に注目してインターネット調査を実施し、「女子大生の筆記用具」をさらに追求しました。今回は実践女子大学生とその他の大学生を対象に調査を実施しました。有効回答数は67サンプルで、その内の23サンプルが実践女子大学生でした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（篠崎香織）」、「マーケティング（斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、自分たちの消費活動、ライフスタイルをはじめ「実践女子大生が自分たち自身」を科学する研究会です。

総括

今回の調査を通じて、7割の実践女子大学生が見た目のデザインや値段よりも筆記用具に実用性を求めていることが分かった。この結果は、Be面の調査結果から伺えた様子と一致したものであった。他の大学生が、実用性を重視する人が一番多いのには実践女子大学生とは変わらないが、実践女子大学性よりも見た目の好みを重視すると答えた割合が多かった。

筆記用具を購入する場所においては、実践女子大学生の6割以上が「Loft」などの雑貨屋で購入していることが分かった。また他の大学生も同様に雑貨屋が一番多かったが、実践女子大学生の方が若干、雑貨屋で購入する割合が高かった。実践女子大学の渋谷キャンパスは渋谷に立地していることもあり、渋谷の大きな「Loft」にも他の大学生に比べて行きやすいことも関係しているのだと考えられる。

筆箱については、実践女子大学生もその他の大学生もともに、ファスナーがついたポーチのような形の筆箱を持つ学生が多く、使う頻度は週5回が最も多かった。筆箱の値段については、実践女子大学生は1,000円から2,000円の筆箱を持っている生徒が4割以上であるのに対し、他の大学生は36%と若干少なく、全体的に値段のばらつきが見られた。

筆箱の中に入れている書けるペンの本数を質問したところ、実践女子大学性の平均本数が6.5本であるのに対し、他の大学生は6.7本とあまり差はなかった。Be面の結果から6、7本の内容を予想すると一般的に、シャープペンシル、黒ボールペン、色ペン2、3本、蛍光ペン2、3本と考えるのが妥当である。

筆箱の中に入れるペンや消しゴム以外のものとして、全体的に定規の次に、USBメモリや付箋が最も多かった。USBメモリが筆箱に入っているのは大学生の特徴ではないだろうか。実践女子大学生は約7割の学生が筆箱にUSBメモリを入れており、他の大学生よりも10割程度多かった。これは大学で配布されたUSBメモリを筆箱に入れる学生が実際に

多いため、周りに影響されることや、パソコン利用時に筆箱を使う学生が多いことが考えられる。他に筆箱に入れているものの少数派として、コンタクトのケースを入れている学生もいた。

Be 面の結果より目をつけた筆記用具とスケジュール帳の関係において、筆箱の中身が多い人ほど、スケジュール帳の記入の際に、多くのペンを使う傾向が見られ、相関的にもやや強い関係が見られた。また、スマートフォンのスケジュール管理アプリのみを使っている実践女子大学生は 4%と非常に少なく、6 割がスケジュール帳のみ使っている学生で残りの 3 割程がスケジュール管理アプリとスケジュール帳両方を利用している学生であった。スケジュール帳とスケジュール管理アプリのどちらも利用していない実践女子大学生は見られなかった。スケジュール帳自体を利用している学生がほとんどであるため、スケジュール帳専用の筆記用具を新しく作れば売れるのではないかと考えた。

また欲しい筆記用具について、自由回答で質問したところ、折れないシャープペンシルなど実現に近づけられるものから、誰でも字がうまく書けるペン、伸び縮みするペンなどのユニークなペン、そして実現が難しい答えを書いてくれるペンなど様々な回答があった。どれも実用性を求めるものであった。

## 調査結果のポイント

### (1) 筆記用具を購入する際に重視することは「実用性」

Be 面の結果からも予想できたとおり、実際に筆記用具に求めるものは実用性であった。そして実践女子大学生は、他の大学生と比べて特に、見た目の好みよりも実用性や値段を重視していることが明らかになった。

### (2) 「雑貨屋」で筆記用具を購入する人が多数

代表例として「LoFt」や「ヴィレッジヴァンガード」等があげられる雑貨屋で購入すると答えた学生が圧倒的に多かった。特に実践女子大学生は他の大学生よりも雑貨屋と答える人が多く、文房具屋は少なかった。これは実践女子大学の渋谷キャンパスは渋谷に立地していることもあり、渋谷の大きな「LoFt」にも他の大学生に比べて行きやすいことも関係しているのだと考えられる。また同じように、文房具屋と答えた実践女子大学生が少ないのは、実践女子大学のある渋谷キャンパスの近くに文房具屋があまりないことも考えられる。

### (3) 筆箱の形は「ファスナーがついたポーチのような形のもの」が大多数

ファスナーがついたポーチのような形のものが実践女子大学生とその他の大学生で共通して多かった。

### (4) 筆箱を持ち歩く回数は「週 5」が最多

週に 5 回筆箱を持ち歩いている学生が最も多かった。授業が無い土、日曜日以外は持ち歩いていると考えられる。実践女子大学生は、週に 7 回、つまり毎日筆箱を持ち歩いている人はその他の大学生に比べて少ないが、週 0~2 回と持ち歩いている回数が少ない人はあまりいなかった。

**(5) 筆箱の値段で最も多いのは「1,000 円以上 2,000 円未満」**

「1,000 円以上 2,000 円未満」が最も多いのは実践女子大学生もその他の大学生も同じであったが、2 番目に多いものに差があった。実践女子大学生が「2,000 円以上 3,000 円未満」なのに対し、その他の大学生は「500 円未満」であった。ここから実践女子大学生はその他の大学生に比べて高めの筆箱を使っている人が多いことがわかる。

**(6) 筆箱の中に入れる書けるペンは 6、7 本**

筆箱の中に入れてあるシャープペンシルや蛍光ペンなどの書けるペンは実践女子大学生もその他の大学生も平均して 6、7 本であった。6、7 本の内容を予想すると一般的に、シャープペンシル、黒ボールペン、色ペン 2、3 本、蛍光ペン 2、3 本と考えるのが妥当である。

**(7) USB を筆箱に入れる人が多数**

全体的に USB を筆箱に入れる人が定規の次に多かったが、特に実践女子大学生は定規よりも若干 USB を入れている人が多く約 7 割の実践女子大学生が入れているという結果が得られた。全体的に USB を筆箱に入れる人が多いのは、大学生の特徴としてレポートを書くのにパソコンを利用したりする頻度が高いことや、筆箱と一緒に使う学生が多いことが考えられる。実践女子大学生が特に多いのは、大学で配布された USB を筆箱に入れる学生が実際に多いため、周りに影響されて入れていることが考えられる。

**(8) 紙のスケジュール帳派の人が多数**

紙のスケジュール帳を利用している大学生は、全体で 9 割程度であった。スマートフォンのアプリのみでスケジュールを管理している大学生は意外にも少なかった。

**(9) スケジュール帳に使うペンの本数と筆箱に入っているペンの本数の関係**

筆箱に入っているペンの本数が多いほど、スケジュール帳にも多くのペンを使う傾向が見られた。特に実践女子大学生は、やや強い相関関係が見られた。全体的に 1 本と答えた人が少なく、2 本以上で書いている人が多かった。予定の種類によって、色分けしていると考えられる。

## 調査結果について

### 〈調査概要〉

調査対象	実践女子大学生及びその他の大学生
調査方法	Google フォームを利用したインターネット調査
調査期間	2017年8月21日～8月24日
有効回答者数	67人
回答者の属性	実践女子大学生：34.3%、その他の大学生：65.7%

### 〈本調査担当チーム〉

実践「ペルソナ」研究会

3年 伊藤沙耶佳

3年 齋藤真季

## 調査結果データ

### (1) 筆記用具を購入する際に重視することは「実用性」

筆記用具を購入する際にどのようなことを最も重視するのか、「実用性」「値段」「見た目の好み」「その他（自由回答）」の選択肢を挙げ質問したところ、全体的に6割以上の方が「実用性」と答えていた。実践女子大学生は70%が「実用性」、26%が「値段」、4%が「見た目の好み」と答え（図1）、その他の大学生は64%が実用性、26%が「見た目の好み」、10%が値段と答えた（図2）。これにより、実践女子大学生は「見た目の好み」よりは「値段」を重視することがわかる。

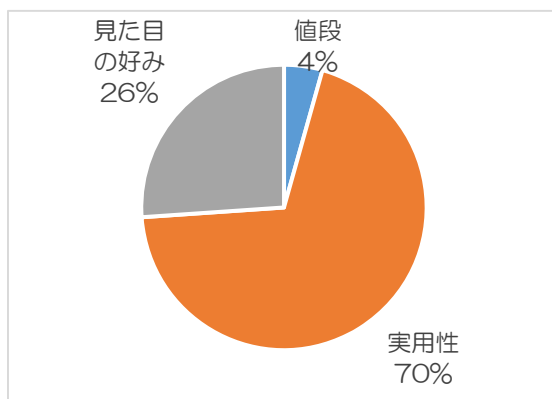


図1. 実践女子大学生が筆記用具を購入する際に重視すること (n=23)

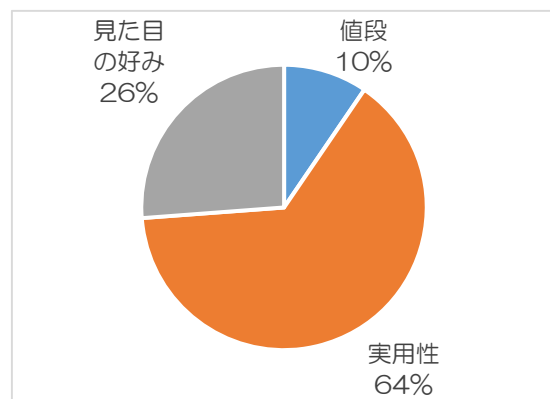


図2. 実践女子大学生以外の大学生が筆記用具を購入する際に重視すること (n=44)

## (2) 「雑貨屋」で筆記用具を購入する人が多数

普段どこで筆記用具を購入しているのか、「雑貨屋」「書店」「コンビニ」「文房具屋」「その他（自由回答）」の選択肢を挙げ質問したところ、全体的に「雑貨屋」が約6割を占めていて、次に続くのが「文房具屋」であった。実践女子大学生も同様に、「雑貨屋」が圧倒的に多かったが、「文房具屋」と答えた人が一番少なかった（図3）。対してその他の大学生は、同じく「雑貨屋」が多かったが、「文房具屋」が実践女子大学生よりも非常に多かった（図4）。

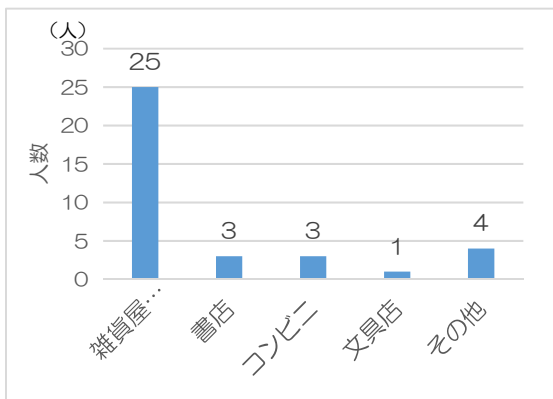


図3. 実践女子大学生が筆記用具を購入する場所 (n=23)

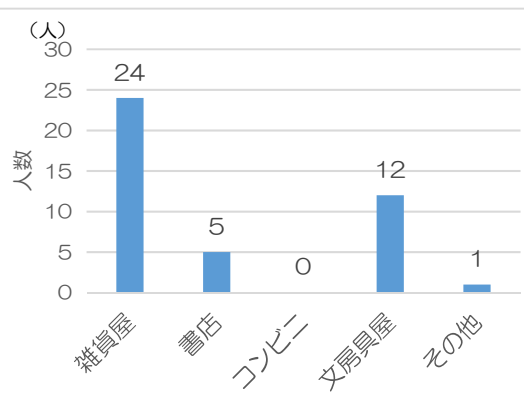


図4. 実践女子大学生以外の大学生が筆記用具を購入する場所 (n=44)

## (3) 筆箱の形は「ファスナーがついたポーチのような形のもの」が大多数

現在使っている筆箱の種類について、「プラスチックの長方形のもの」「ファスナーがついたポーチのような形のもの」「柔らかくぬいぐるみのような形のもの」「ペンたてのようになるもの」「その他（自由回答）」の選択肢を挙げ質問したところ、「ファスナーがついたポーチのような形のもの」が全体で7割以上を占めていた。次に続くのは「プラスチックの長方形のもの」であった。実践女子大学生は87%が「ファスナーがついたポーチのような形のもの」、9%が「プラスチックの長方形のもの」、4%が「柔らかくぬいぐるみのような形のもの」、「ペンたてのようになるもの」と「その他」は0%であった（図5）。その他の大学生の75%が「ファスナーがついたポーチのような形のもの」、16%が「プラスチックの長方形のもの」、「柔らかくぬいぐるみのような形のもの」と「ペンたてのようになるもの」が0%で、「その他」が9%であった（図6）。その他の自由回答では、「がま口タイプのもの」、「数本のペンしか入らない細いもの」などがあつた。これにより、実践女子大学では、「ファスナーがついたポーチのような形」の筆箱が多く使用されていることがわかる。

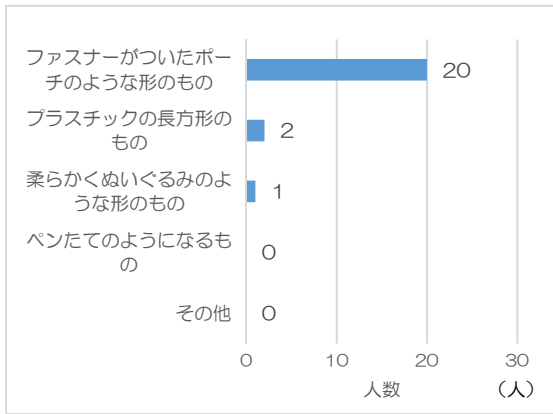


図 5. 実践女子大学生が持っている筆箱の形 (n=23)

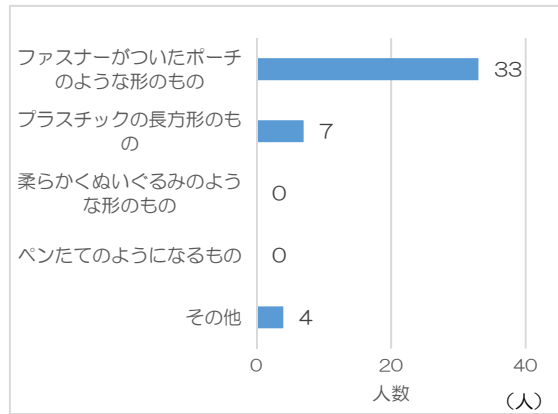


図 6. 実践女子大学生以外の大学生の筆箱の形 (n=44)

#### (4) 筆箱を持ち歩く回数は「週 5」が最多

普段学校がある時、週に何回筆箱を持ち歩いているか「週 7」、「週 6」、「週 5」、「週 4」、「週 3」、「週 2」、「週 1」、「まったく持ち歩かない」の選択肢を挙げ質問したところ、約 4 割の人が「週 5」と答えていた。実践女子大学生は 52%が「週 5」、35%が「週 4」、5%が「週 7」、4%が「週 3」と「週 6」、「週 2」と「週 1」と「まったく持ち歩かない」と答えた人は 0%であった (図 7)。その他の大学生は 39%が「週 5」、23%が「週 7」、11%が「週 6」、7%が「週 4」と「週 2」と「週 1」、4%が「まったく持ち歩かない」、2%が「週 3」であった (図 8)。これにより、実践女子大学生は、週に 7 回、つまり毎日筆箱を持ち歩いている人はその他の大学生に比べて少ないが、週 0~2 回と持ち歩いている回数が少ない人はあまりいなかった。

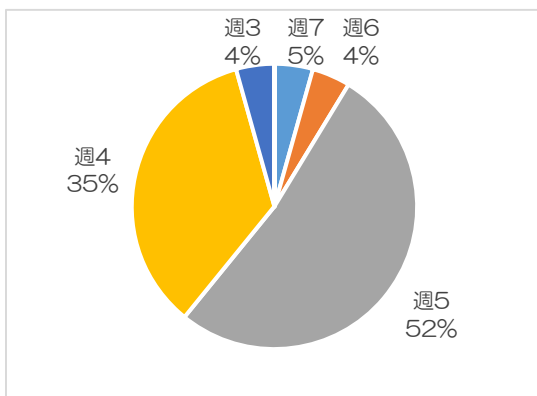


図 7. 実践女子大学生が筆箱を持ち歩く頻度 (n=23)

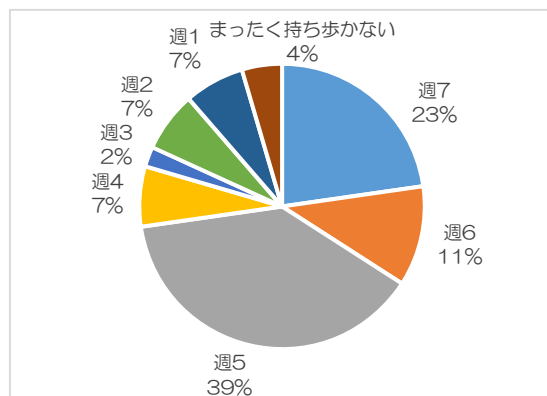


図 8. 実践女子大学生以外の大学生が筆箱を持ち歩く頻度 (n=44)

### (5) 筆箱の値段で最も多いのは「1,000 円以上 2,000 円未満」

現在使っている筆箱はいくらで購入したか「3,000 円以上」、「2,000 円以上 3,000 円未満 4」、「1,000 円以上 2,000 円未満」、「500 円以上 1,000 円未満」、「500 円未満」の選択肢を挙げ質問したところ約 4 割の人が「1,000 円以上 2,000 円未満」と答えた。実践女子大学生は 44%が「1,000 円以上 2,000 円未満」、26%が「2,000 円以上 3,000 円未満」、17%が「500 円以上 1,000 円未満」、9%が「500 円未満」、4%が「3,000 円以上」であった（図 9）。その他の大学生は 36%が「1,000 円以上 2,000 円未満」、25%が「500 円未満」、20%が「2,000 円以上 3,000 円未満」、14%が「500 円以上 1,000 円未満」、5%が「3,000 円以上」であった（図 10）。「1,000 円以上 2,000 円未満」が最も多いのは同じであったが、2 番目に多いものに差があった。実践女子大学生が「2,000 円以上 3,000 円未満」なのに対し、その他の大学生は「500 円未満」であった。ここから実践女子大学生はその他の大学生に比べて高めの筆箱を使っている人が多いことがわかる。

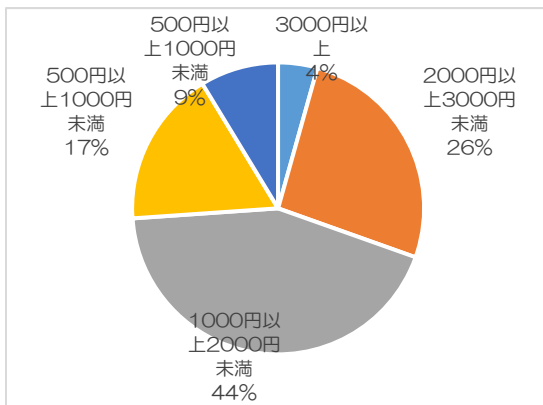


図 9. 実践女子大学生の持っている筆箱の値段 (n=23)

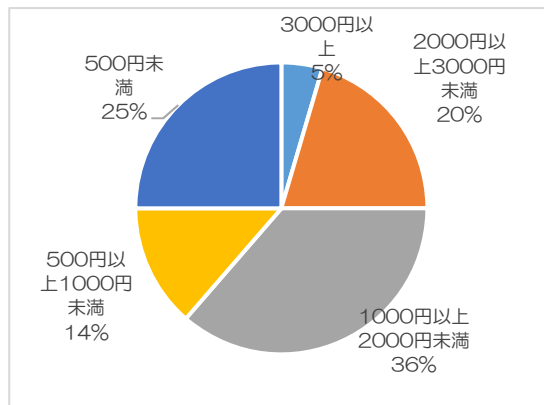


図 10. 実践女子大学生以外の大学生が持っている筆箱の値段 (n=44)

### (6) 筆箱の中に入れる書けるペンは 6、7 本

筆箱の中に入っているシャープペンシルや蛍光ペンなどの書けるペンの本数を質問したところ、実践女子大学生は平均 6.5 本、その他の大学生は平均 6.7 本であった。実践女子大学生は 5 本と 7 本と答えた人が多く中央値が 6 本であった（図 11）。他の大学生は 6 本と答えた人が最も多く、中央値も 6 本で、全体的に回答者が多い分回答の幅が広がった（図 12）。

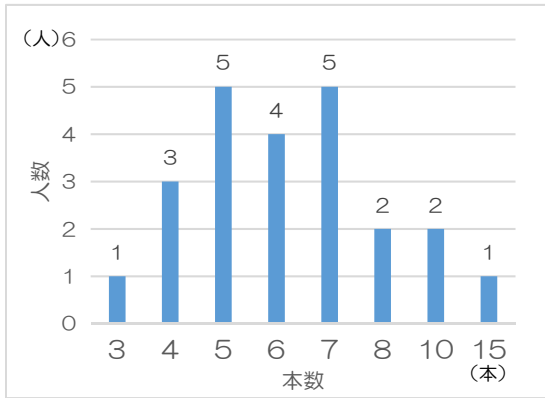


図 11. 実践女子大学生に筆箱に入れている書けるペンの本数 (n=23)

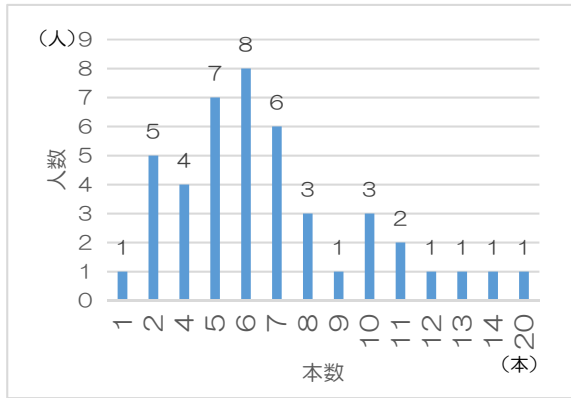


図 12. 実践女子大学生以外の大学生が筆箱に入れている書けるペンの本数 (n=44)

### (7) USB を筆箱に入れる人が多数

筆箱にペン類や消しゴム以外に何を入れているのが質問したところ、全体的に定規が最も多く、少しの差で次に USB メモリを入れている人が多かった。特に実践女子大学生は USB メモリを入れている人の方が、定規を入れている人よりも若干多かった (図 13)。他の大学生は定規に続いて修正ペンや修正テープを入れている人が多かった (図 14)。その他の回答には、コンタクトケースやメモ帳などがあげられた。

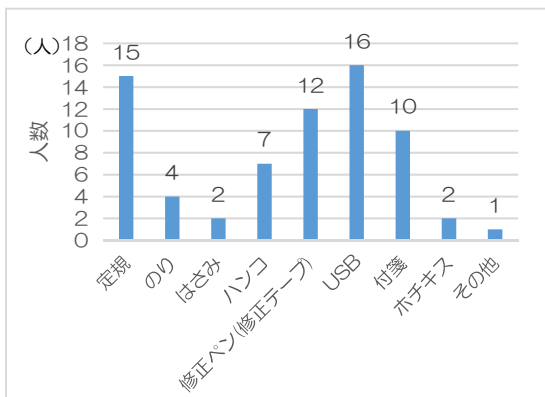


図 15. 実践女子大学生がペンや消しゴム以外に筆箱に入れているもの (n=23) (複数回答)

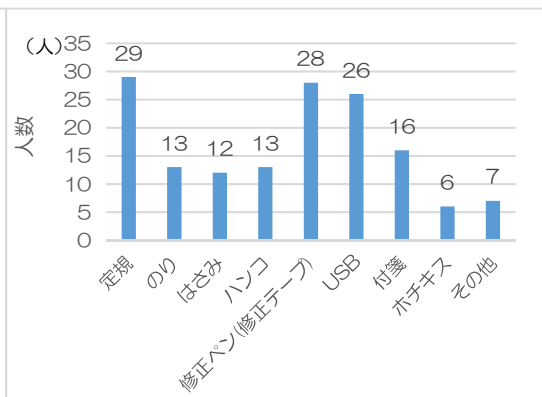


図 16. 実践女子大学生以外の大学生がペンや消しゴム以外に筆箱に入れているもの (n=44) (複数回答)



### (8) 紙のスケジュール帳派の人が多数

自分のスケジュールをどのように管理しているか「スマートフォンのアプリのみ」「スケジュール帳のみ」「スマートフォンのアプリとスケジュール帳の両方」「使用していない」「その他（自由回答）」の選択肢を挙げ質問したところ、全体的に「スケジュール帳のみ」が約55%で最も多く、その次は約35%で「スマートフォンのアプリとスケジュール帳の両方」で、「スマートフォンのアプリのみ」は約7%と意外と少ない結果となった。実践女子大学生だけを見ると「スマートフォンのアプリのみ」を使っている実践女子大学生は4%と非常に少なく、6割がスケジュール帳のみ使っている学生で残りの3割程がスケジュールアプリとスケジュール帳両方を利用している学生であった（図17）。その他の大学生は、実践女子大学生よりも、スマートフォンのアプリを活用している人が約45%と若干多く、「スマートフォンのアプリのみ」を使っている人が9%と実践女子大学生の2倍以上多かった（図18）。

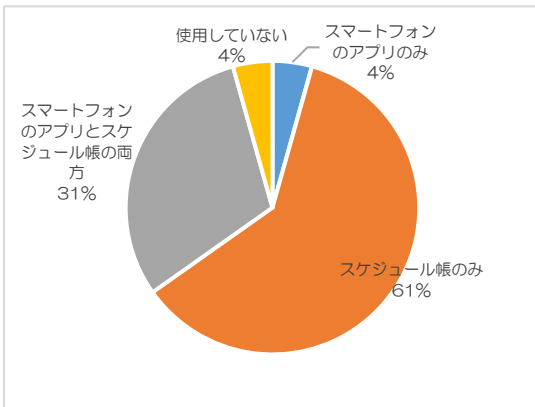


図 17. 実践女子大学生のスケジュール管理方法 (n=23)

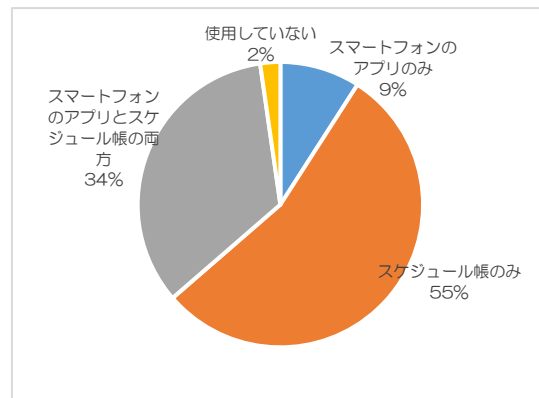


図 18. 実践女子大学生以外の大学生のスケジュール管理方法 (n=44)

### (9) 実践女子大学生の筆箱に入っているペンの本数とスケジュール帳を使う時のペンの本数には関係が見られた

スケジュール帳を使っている人にスケジュール帳を記入する時に使うペンの本数を質問したところ、筆箱に入っているペンの本数が多いほど、スケジュール帳にも多くのペンを使う傾向が多く見られた。特に実践女子大学生は筆箱に入っているペンの本数とスケジュール帳を記入するときに使うペンの本数 $R^2=0.635$ で数値がやや1に近いので、直線への当てはまりが良かった（図19）。しかし、他の大学生は $R^2=0.035$ で数値が1と遠い数であったため、直線への当てはまりが悪かった（図20）。つまり、筆箱のペンの本数とスケジュール帳に使うペンの本数には、あまり関係があるとは言えなかった。全体的に1本と答えた人が少なく、2本以上で書いている人が多かった。

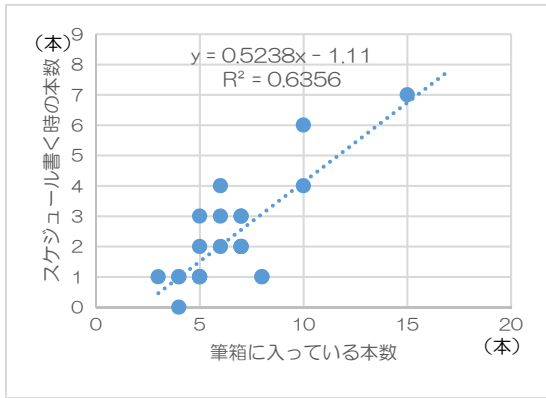


図 19. 実践女子大学生の筆箱に入っているペンの本数とスケジュール帳を使う時のペンの本数 (n=23)

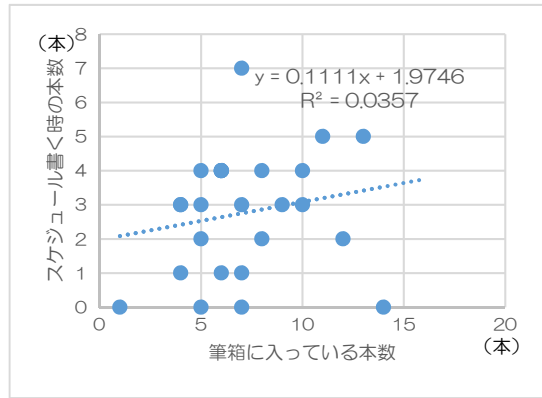


図 20. 実践女子大学生以外大学生の筆箱に入っているペンの本数とスケジュール帳を使う時のペンの本数 (n=44)

Be 面から予測した通り、7割という非常に多くの実践女子大学生が見た目のデザインや値段よりも筆記用具に実用性を求めているという結果になった。これは他の大学生においても伺えたため、大学生は実用性重視のものを求めていることがわかった。そのため、大学生をターゲットにした場合、実用性をアピールした筆記用具は人気になると予測できる。そして、今回の調査で明確にわかったことは、現役大学生はスマートフォンのスケジュール管理アプリよりも、紙のスケジュール帳を愛用していることである。残念ながら、筆箱のペンの本数とスケジュール帳を書くときのペンの本数に関係は見られなかったが、まだまだ紙のスケジュールを利用している学生が多いため、スケジュール帳を記入する際のペンに需要はあると考えられる。大学生は他の学生に比べ、時間の自由度が高いため、バイトやサークルなどのスケジュール管理が重要になる。そこで、スケジュール書くような持ち歩き便利なペンがあると学生側から考えて嬉しい。例えば、スケジュール帳にペンホルダーが付いていなくてもペンがスケジュール帳に収納できるように、コンパクトで平べったくかさばらないペンなどである。また、ペンの値段において、大学生はあまり高級なペンを持たないため、実用性に加えて、値段も適切な筆記用具が好ましい。